

助産雑誌 Back Number

◆ 2015 年 4 月号



特集 産婦の身体の声をきく
アセスメント能力を高めよう

「聞く」「聴く」「訊く」の「3つのきく」をキーワードに、言葉、表情、行動などから産婦の身体が何を伝えようとしているのかを感じ取り、アセスメントにつなげていける解説をしました。意識的にアセスメントすることで、より豊かな助産実践が可能になります。

◆ 2015 年 3 月号



特集 ペリネイタル・ロスのケアを考える

流産・死産・新生児死亡などで周産期に子どもを亡くす家族は未だ多く存在し、そのような家族に対するケアの必要性が認識されています。本特集では、ペリネイタル・ロスのケアに際して基盤となる考え方や、家族が望むケアについてお伝えします。

◆ 2015 年 2 月号



特集 助産師が
しっかり実施したい
新生児蘇生法(NCPR)

新生児蘇生法(NCPR)を、いざという時に自分の判断で自信をもって実施してほしい。ためらうことなく臨んでほしいという思いから、特集を組みました。出生からの60秒間に立ち会う助産師が、新生児蘇生技術を維持・向上する方法をお伝えします。

◆ 2015 年 1 月号



少子化、分娩施設の集約、就業場所の偏在 etc.から
特集 助産師のよりよい未来像を描く！

少子化による分娩件数の減少など、現在助産師が直面している課題はさまざまあります。本特集では、助産ケアのみならず、産後ケアや育児支援などでも、助産師が社会から必要とされるなか、今後どのように助産師の未来を切り拓いていけばよいのか考えます。

◆ 2014 年 12 月号



特集 キャリアを積む
ということ
助産師としての私の働き方

今後キャリアをどのように積むべきか、迷う方も多いのではないでしょうか。本特集では、助産師という専門職をどのように母子とその家族、そして自身のために活かすのか、モチベーションをもち続け、主体的にキャリアを開発していくことの大切さを考えます。

◆ 2014 年 11 月号



特集 『産婦人科診療ガイドライン—産科編 2014』
の改訂ポイント解説

3年ごとに改訂されている『産婦人科診療ガイドライン—産科編』には、現在知られているBestの医療がまとめられており、助産業務とも密接に関連しています。本特集では、大きく改訂されたポイントを中心に、助産師が知っておきたい内容について解説しました。

◆ 2014 年 10 月号

特集

コミュニケーション術をみがいて、いいお産をめざす

9 月号

お父さんの「父親力」を高める

8 月号

知っておきたい、新生児・乳児のこと 病気の不安から母乳育児の疑問まで

7 月号

タッチケアの新たな時代

6 月号

母乳不足と補足を考える

5 月号

科学的根拠からみなおす助産技術

4 月号

多胎の支援 妊娠中から育児まで

バックナンバーのお取り扱いについて

① 2013 年 5 月号以降の雑誌は、メッドブック(TEL:03-3817-5666)にて承ります。

② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック 〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-13-4 TEL:03-3985-4701 FAX:03-3985-4703